タイトル（日本語：16pt, ＭＳ ゴシック；表題）

 1行空ける（11pt；標準）

山中 伊都1\*, 九大 ジロー2（12pt, ＭＳ 明朝；著者名）

1九州大学基幹教育院, 〒819-0395 福岡市西区元岡744（10pt, ＭＳ 明朝；所属）

2九州大学大学院○○学府, 〒XXX-XXXX 福岡市○○○○XXX（所属）

 2行空ける（標準）

Title should be written in English here by using capital letters to start the principal words. (English: 16pt, Arial; Title)

 1行空ける（標準）

Ito YAMANAKA1\*, Jiro KYUDAI2 (12pt, Times New Roman/Times; Authors)

1Faculty of Arts and Science, Kyushu University, 744, Motooka, Nishi-ku, Fukuoka 819-0395, Japan (10pt, Times New Roman/Times; Affiliations)

2Graduate School of Systems Life Sciences, Kyushu University, 6-10-1, Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka 812-8581, Japan (Affiliations)

 1行空ける（標準）

\*E-mail: xxxxx@artsci.kyushu-u.ac.jp (10pt, Times New Roman/Times; Corresponding author)

Received MMM. DD, YYYY; Revised MMM. DD, YYYY; Accepted MMM. DD, YYYY

 Spacing 1 line (Abstract)

Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. Abstract is here. The abstract must be no longer than 250 words. (10pt, Times New Roman/Times; Abstract)

 Spacing 1 line (Abstract)

# 1. 投稿案内（ここから本文を書き始めてください：14pt, ＭＳ 明朝太字もしくはTimes New Roman/Times, Bold；見出し1）

　投稿論文は、基幹教育、高等教育及びアクティブラーナーの育成にかかわる内容についての研究、開発、情報提供、実践報告などとし、未公刊のものとします。所定のフォーマットに従って作成したものを、電子データにて受け付けます（ArticleもしくはReportのいずれかに分類しています）。投稿後の大幅な変更は、認められませんのでレイアウトまで済ませた状態で投稿してください。投稿された原稿は、査読を行い、掲載の採否を決定します。原稿の改訂を求められた際には、修正依頼日から期限内に改訂原稿を提出してください。（11pt, ＭＳ 明朝もしくはTimes New Roman/Times; 標準）。

　記事の著作権につきましては、原則、原稿が受理された時点で著者から基幹教育院に移譲されたものとさせていただきます。ただし、図、写真、絵画などそれ自身に著作権が含まれているものに関しては、著者自身の責任で許諾を得てください。著作権に関する問題が発生した場合、基幹教育院は一切責任を負いません。著者は、掲載決定後、所定の著作権譲渡承諾書を編集委員会に提出ください。

Bulletin of KIKAN Education, Vol. x, 20xx

© 20xx Faculty of Arts and Science, Kyushu University

# 2. 原稿の書式

## 2.1. 全般（12pt, ＭＳ 明朝太字もしくはTimes New Roman/Times, Bold；見出し2）

　原稿はMS Wordの本テンプレートに沿ってレイアウトを終えた状態で作成してください。言語は日本語もしくは英語とします。日本語論文の場合、英数字や記号は英語フォントを用いてください。日本語の句読点は「。」「、」とし、日本語論文内の英文には「.」「,」を用いてください。要旨、本文とも「両端揃え」としてください。

　用紙サイズはA4、フォントおよびフォントサイズはタイトル、見出し、本文など該当する「スタイル」を用いてください（本ファイルの該当箇所に上書きしながら作成してください）。章および節は「通し番号＋ピリオド＋半角スペース＋見出し」で適切な見出しを付けてください。謝辞、参考文献、補遺については本文の最後に配置し、通し番号をつけないでください。

　分量は原則として2頁以上20頁以内とします（写真、図、表などを含む）。なお、原稿を受理した後に、紀要編集担当者がヘッダ、フッダや書式を修正する場合があります。

## 2.2. タイトル、著者、所属

　本文が日本語の場合には、タイトル、著者名、所属については日本語と英語の両方で記載してください。本文が英語の場合には、日本語のタイトルや著者名、所属の記述は不要です。英語タイトルは文頭の文字のみ大文字にしてください。タイトルには原則としてサブタイトルは付けないでください。どうしても付けたい場合は、コロン（：）やティルダ（～）、ダッシュ（―）などを付けずに、改行してサブタイトルを付けてください。

　著者が複数のときは、コレスポンディングオーサー（責任著者）にはアスタリスク「\*」を付け、連絡先（E-mailアドレス等）を本テンプレートに倣って上書き作成してください（単著の場合は、アスタリスクは不要）。著者が複数であっても、所属先が同一の場合は、各著者に番号を振る必要はありません（コレスポンディングオーサーを示すアスタリスクは必要）。

　日本語表記／英語表記ともに、著者の姓と名のあいだは半角スペースを空けてください。著者が複数のときの英語表記では、著者名間は半角カンマと半角スペースで区切ってください（andは不要）。

　所属と住所のあいだは半角カンマ「,」+半角スペースを空けてください。

## 2.3. 要旨

　要旨は英語で記載してください（字下げなし、1パラグラフ）。

## 2.4. 本文

　本文が英語の場合、見出しの直後の文章は字下げをしないでください。それ以降の段落はじめは、三文字分下げてください。本文が日本語で、本文中に英数字が連続して現れる場合は、半角カンマ+半角スペースで区切ってください（例：a, b, c, …）。また、日本語論文中にカッコを付ける際、カッコ内が日本語であれば「カギカッコ」、（丸カッコ）とし、カッコ内が英数字のみであれば"double quotation"または(parenthesis)のようにTimes New Roman またはTimes でダブルクォーテーションまたは丸カッコを付けてください。

## 2.4. 長い引用

　長い引用は、上下を１行ずつあけ、全体に２字下げの両端揃えにしてください（11pt, ＭＳ 明朝もしくはTimes New Roman/Times; 引用）。引用のスタイルを適用すれば、自動的に上記の設定になります。

　実際の引用文はこのようになります。実際の引用文はこのようになります。実際の引用文はこのようになります。実際の引用文はこのようになります。実際の引用文はこのようになります。実際の引用文はこのようになります。実際の引用文はこのようになります。実際の引用文はこのようになります。実際の引用文はこのようになります。

## 2.5. 参考文献

　参考文献（「引用」、「註」など表記を適切に変更してください）は本文中では上付き添え字で表記し（例1, 2, 4-8など）本文の最後にまとめて記述してください（本テンプレートの最後に例があります）。なお、参考文献の表記方法につきましては、一般的な学会誌等にならって統一的に記載されていれば上記の例とは異なっていても構いません。

## 2.6. 図表

　図と表は明確に区別してください。図には図のみの通し番号を付け、図の下部に図番号と図タイトル、必要に応じて説明文を記述してください。表には表のみの通し番号を付け（表1、表2など）、表の上部に表番号と表タイトルを記述してください。いずれもキャプションのフォントサイズは10ptとし、本文中の適切な位置に見やすい大きさで配置してください。図表のタイトルを付ける際は、「Word＞参考資料＞図表番号の挿入」で番号・タイトルを付け、その後「スタイル（図タイトル）」、「スタイル（図説）」、「スタイル（表タイトル）」を適用して書式を揃えてください。本文で参照する際は（図 1）のように、図のタイトルと同様のスタイルにしてください。

 必要に応じて1～2行空ける（標準）

Figure

図1 図のタイトル（10pt, MS明朝もしくはTimes New Roman/Times; 図タイトル）

図番号の付け方は、「図＋半角数字+半角スペース×2」とし、左端は図の左端に合わせる。図説はMS明朝／Time New Roman/Timesで左揃えにする（図説）。1つの図が複数の図から構成される場合は、各図の左上に(a), (b)などと半角カッコと半角英字で枝番を振り、図説で「(a)　説明文～。(b)　説明文～。」と各図の説明を入れる。

 必要に応じて1～2行空ける（標準）

表1 表タイトル\*（10pt, MS明朝もしくはTimes New Roman/Times; 表タイトル）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | AAA | BBB | CCC | DDD | EEE | FFF |
|  | 111 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

\*表タイトルは左揃えにし、左端は表の左端に合わせる。表の注釈は表中の文字に\*を上付き添え字でつけ、表の下部に書く。複数の注釈がある場合は、\*1, \*2, …のようにする。(10pt, MS明朝もしくはTimes New Roman/Times; 表脚注)

 必要に応じて1～2行空ける（標準）

# 3. 刊行形態

　冊子体とWeb版を刊行します。Web版ではカラー原稿でもそのままpdfファイルで公開しますが、冊子体は白黒のオフセット印刷で作製します。そのため、白黒印刷しても判読できるような図や写真を用いてください。

# 4. 掲載料・抜き刷り

　掲載料は徴収しません。稿料は支払いません。

　抜き刷りが必要な方には30部贈呈致します。原稿が受理された際にご希望をお尋ねします。

# 5. 原稿送付先・問い合わせ先

　以下の電子メールアドレスに原稿ファイルを添付して送付してください。

 bulletin@artsci.kyushu-u.ac.jp　基幹教育紀要編集担当

　問い合わせも上記のアドレスに電子メールにてお願い致します。

謝辞（11pt, ＭＳ 明朝太字もしくはTimes, Bold; 見出しA）

　本研究は○○大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(XXXXX, YYYY)の支援を受けた。

参考文献（11pt, ＭＳ 明朝太字もしくはTimes, Bold; 見出しA）

1Author, A. B., Author, C. D., and Author, E.: Kikan Kyoiku, 123, 150, 2008.
（10pt, MS明朝もしくはTimes; 文献リスト）

2Author, A. B. and Author, C. D.: J. Chem. Phys., 95, 123432, 2008.